

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	重粒子線装置の高度化に関する研究；色素ゲルを使った照射線量分布測定システムの検討
	研究目的	重粒子線のペンシルビーム・スキャニング法では、ビームの位置およびその点の線量を高精度に制御できるが、その3次元線量分布を簡易に計測する手法は確立されていない。本研究では、横浜国立大学で検討が進められてきた放射線照射によって光学的な特性の変化する色素ゲルと、その3次元分布を測定する Optical-CT を用いて、計測が短時間で行えかつ高分解能を有する照射線量分布計測システムの研究開発を行う。重粒子線-線量分布測定に適したゲル試料の研究を進め、それをもとに QA 用線量分布測定システムの開発を行う。
	研究期間	西 暦 2018 年 7 月 6 日 ～ 西 暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(重粒子線治療の照射 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 データ)
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	理工学科・科長 蓑原伸一
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	理工学科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	国立大学法人 横浜国立大学 大学院工学研究院 五東弘昭 准教授